



日本の“宝島”あまくさ
ほんど
 まちづくり協議会だより



急がない、慌てない、近道しない…少しずつでも着実なまちづくりを

本年7月5日から6日にかけて発生した九州北部豪雨をはじめ、各地で豪雨被害が発生しました。また、今年は格別な猛暑が続き、熊本県下でも7月13日の梅雨明け以降30度以上になる真夏日が9月3日まで連続しました。その一方、国内では日照不足で農作物の生育の悪い地域もあり、今年も異常気象となりました。このような異常気象がこれからは当たり前になるのかもしれませんが。

国際社会も緊迫し、先行き不透明で不安材料がいっぱいです。我が国の政治・経済もなかなか安定とはいかないようです。

天草地域も人口の減少、高齢化、過疎化は進み、さまざまな課題が山積し、その解決に向けて地域でも新たな事業を始めることも多くなるでしょう。新たなことを始めるためには、優先順位の低いものを少なくとも2つや3つのことは止め、資源に余裕を持たせなければ、予算や人手を食いつぶすことになるのではないのでしょうか。今まで取り組んできたことの中で、やめることを決める時が来ているように思います。

人はすぐに成果や結果を求めたがりますが、「急がない、慌てない、近道しない」この三つの言葉が人づくりやものづくりでは柱になります。

今年、地域おこし協力隊を募集いたしました。残念ながら本渡地域からは採用の希望がありませんでした。引き続き募集をいたします、この機会にぜひ、従来と違った目線での地域づくりに挑戦してみませんか。まちづくり協議会でも役員の皆様と協議を重ねながら、地域が元気になるように活動を展開していきたいと考えていますので、なお一層の皆様のご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

人生に大切なものは「ア」行、あい(愛)・うん(運)・その結果得たえん(縁)を大切にすること・そしてそれらに感謝するおん(恩)を忘れないこと、縁は必ずあなたをいつかどこかで助けてくれるでしょう。縁を大切に。

坂本龍馬は、自分よりも凄い人に出会い続けた人生であったといわれています。「人生の質は出会いの質」このことを私は常に思いながら、これからも活動していきたいと思っています。

最後になりましたが、皆様のご健勝をご祈念申し上げまして挨拶といたします。



本渡まちづくり協議会
 会長 中川竹治

Vol. **19**

平成29(2017)年11月1日号

目次

- 会長あいさつ P1
- 平成29年度事業計画・
 収支予算など P2~3
- まちづくり研修事業報告 P4
- お知らせなど P5
- 各地区の話題 P6~7
- イルミネーション特集など P8



◎本渡まちづくり協議会委員 (敬称略)

役職	氏名	備考
会長	中川 竹治	地域づくり団体
副会長	鬼塚 邦照	楠浦地区振興会長
監事	池邊 哲夫	公募
"	竹畑 研一	公募
委員	海江田雅靖	本渡南地区振興会長
"	鶴田 克幸	本渡北地区振興会長
"	河野 昇	亀場地区振興会長
"	菅原 一男	杉宇土地区振興会長
"	福島 実	志柿地区振興会長 ※
"	松岡 政幸	下浦地区振興会長
"	岡部 養一	本町地区振興会長 ※
"	原田 康秀	佐伊津地区振興会長
"	松川 莞爾	宮地岳地区振興会長
"	寺澤 静子	文化関係
"	浦川 至	体育関係
"	渡邊 弘樹	経済団体
"	國武 裕子	観光関係
"	梅川 正	産業関係 ※
"	森下 千秋	高齢者福祉関係
"	田口 珠代	子ども育成・青年団体

※は新任委員の皆さまです。

まちづくり講演会

まちづくり講演会は、本渡

今年度、天草市で採用する地域おこし協力隊との意見交換

地域おこし協力隊との意見交換

地域内の振興会が一堂に会し、地域の実情と課題を再認識するとともに、共通認識を深めることにより、地域のまちづくりのあり方を見出すことを目的として実施いたします。多くの皆さんにご参加いただき、本渡地域あるいは各地区のまちづくりに関するご意見を伺いたく思います。ご意見やご要望などありましたら、本会事務局(ポルト・市まちづくり支援課)または各地区コミュニティセンターへお知らせください。



※本渡まちづくり協議会についての詳細は、本会事務局(ポルト・市まちづくり支援課) ☎326661へお尋ねください。

協議会だより発行

協議会だよりは、年2回、本渡地域にお住まいの皆さんに配布しています。まちづくりに関する情報を分かりやすくお伝えできる誌面にしたいと思

人・技・知恵が最大の資源、 これらを育てる人づくり!

～平成29年度 第1回まちづくり協議会を開催～

平成29年度の事業計画・収支予算を審議

各事業の紹介

まちづくり人材育成研修

まちづくり人材育成研修は、まちづくりを推進する人材の発掘と育成を目的として研修を行うものです。今年度は、本会委員などを対象として、人吉市で開催が予定されている地方創生実践塾への参加を計画しております。

まちづくり研修

まちづくり研修は、地域の特色を活かした取り組みを展開している団体や地域などを訪問し、それらの取り組みについて学び、意見を交換することで、気づきや発見を得て、まちづくりの参考としていただくことを目的に行う事業です。今年度は、本会委員及び本渡地域内の振興会職員などを対象として、日本有数の先進地を訪問する研修を実施いたします。

◎平成28年度 収支決算

収入	
決算額	17,105,687円
○天草市交付金	16,686,000円
○参加者負担金	170,000円
○繰越金	249,668円
○雑入	19円
支出	
決算額	16,873,589円
○運営費	413,357円
○事業費	1,725,232円
・まちづくり人材育成事業	(335,643円)
・まちづくり研修事業	(982,101円)
・協議会だより発行事業	(407,488円)
○地区振興会活動費	14,735,000円
※10地区振興会の活動費	
○次年度への繰越金	232,098円

◎平成29年度 収支予算

収入	
予算額	17,460,000円
○天草市交付金	16,686,000円
○参加者負担金	532,500円
○繰越金	232,098円
○雑入	9,402円
支出	
予算額	17,460,000円
○運営費	210,000円
○事業費	2,440,000円
・まちづくり人材育成研修事業	(400,000円)
・まちづくり研修事業	(1,250,000円)
・まちづくり講演会事業	(200,000円)
・協議会だより発行事業	(450,000円)
・地域おこし協力隊との意見交換	(140,000円)
○地区振興会活動費	14,735,000円
※10地区振興会の活動費	
○予備費	75,000円

善意の寄附 ありがとうございます (敬称略)

[平成29年3月～平成29年9月 本渡まちづくり協議会受領分]

○ ふるさと応援寄附金として

カバン プロウイ(東京都) 米田 宣英(奈良県) 中村 真(宮崎県) 山田 昌平(東京都)
 福田 良治 (東京都) 吉田 隆一(東京都) 後藤 直樹(福岡県) 宮崎 俊幸(熊本県)
 永江 保 (愛知県) 松下 功(千葉県) ※その他、17名の方々に寄附いただきました。

「ふるさと納税」で、天草本渡のまちづくりを応援してください。応援したいまちづくり協議会または地区振興会を指定できます。

市外にお住まいのお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ご周知くださいますようお願いいたします。

日本の宝島

“天草”づくり講演会が 開催されます



入場無料

天草市では、市民の皆さんと行政の協働によるまちづくりを推進するため、「日本の宝島“天草”づくり講演会」を開催します。本年は、地域づくり分野で全国的に注目されている井上貴至氏をお迎えし

講師

愛媛県市町振興課長
井上 貴至 氏
(前 鹿児島県長島町副町長)

て、地域づくりのヒントやアイデアがたくさん詰まったお話をさせていただきます。

この機会にぜひ、ご参加いただき、まちづくりについて一緒に考えてみませんか。皆さんのご来場をお待ちしております。

とき 平成29年12月10日(日)
午前10時開場、午前10時30分開演

ところ 栖本福祉会館

演題 「地域づくりは楽しい」

問い合わせ先 天草市役所 まちづくり支援課
☎0969-32-6661

主催 天草市

後援 天草市まちづくり協議会連絡会

天草市に 地域おこし協力隊が やってきました!



やま た やす し
山田 恭史さん

天草市の地域おこし協力隊に任用されました山田です。私の両親は元々天草の出身で、私が中学3年の時に、父親の転勤のため天草を離れることになりました。その当時の天草の山や海の風景、豊かな自然から生まれる新鮮な食べ物がいまもしっかりと記憶に残っています。

来年で定年を迎えるにあたり、子ども時代を過ごした懐かしい思い出のある天草に戻りたいと思い、移住することを決心いたしました。

写真をとることが趣味で、休日には公園や名所巡りをしています。

着任後は積極的に地域行事やイベントに参加し、天草の活性化に繋がるような情報を発信できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

天草市地域おこし協力隊ってなあに？

都会から天草市に移住して、地域活性化のために活動する人で、今回、天草市が地域おこし協力隊員として山田さんを採用します。山田隊員には、11月1日から着任してもらい、天草市内のまちづくり協議会や地区振興会に対してまちづくりに関する助言や情報発信方法について指導してもらいます。

まちづくりの先進地へ研修に行ってきました!

～ まちづくり研修(コミセン職員研修)の報告 ～

平成29年度の「まちづくり研修(コミセン職員研修)」を10月5日から6日にかけて開催しました。研修には、振興会の事務局職員など10人が参加。まちづくりにおける先進地である大馬越地区コミュニティ協議会(鹿児島県薩摩川内市)と久木野地域振興会(熊本県水俣市)を訪問しました。研修では活発な意見交換も行われ、この研修で得られたことは、今後の各地区のまちづくりに活かされていくことと思います。

大馬越地区コミュニティ協議会の主な取り組み

● 「しそつぶ物語」の生産・製造・販売

遊休農地や各家庭の庭先で栽培されていた青しそ、赤しそに着目し休耕田の解消と特産品づくりとして平成18年度から取り組みを開始し、平成19年度から本格的な販売を開始。栽培から加工まで一連の作業は高齢者も含め地区住民が一体となり行われています。また、この取り組みは、平成20年に鹿児島県共生・協働のむらづくり表彰(県知事賞)を受賞されるなど、先進的事例として注目されています。

● 情報発信

毎月8ページの広報誌を発行。コミュニティ協議会や自治会、地域の話、主なお知らせと行事予定、そのほか最新の情報をその都度取材し、新鮮な記事を掲載されています。

● 少子化対策

新生児誕生時に金券(1万円)を贈呈。児童減対策として少しでも役立ててほしいとの願いで、平成26年度から交付をされています。

● 高齢者等毛布洗濯事業

高齢者の希望者に洗濯から脱水及び乾燥までを無料でされています。

● コミュニティセンターの運営

天草市と同様に、薩摩川内市からの指定管理によりコミュニティセンターを運営されています。より使いやすい施設とするため、年2回利用者アンケートを実施されています。



研修(大馬越地区コミュニティ協議会)のようす

久木野地域振興会の主な取り組み

● 愛林館の運営

久木野地域振興会の活動拠点として、水俣市から管理委託費800万円を得て運営されています。

・食事の提供など

地域で採れたものを加工して販売。料理教室や手作り体験(そば、うどん、豆腐、こんにやく、バウムクーヘン、ピザなど)をされています。

・環境教育

森林の手入れ(21ha)、田援計画(大豆や米の購入、作業の手伝い募集)、各種研修の受入れなどをされています。

・イベント

しし鍋マラソン、講演会、コンサートなどをされています。

● 村丸ごと生活博物館

地域固有の風土と暮らしの醸し出す佇まいを風格あるものにし、地域社会の発展に寄与するため、地区の自然や生活文化遺産、産業遺産などを確認し、保全、育成、修復を図るとともに、生活環境の保全、再生、創造を行っている地区を水俣市が指定するもので、村全体、暮らしそのものが展示物という博物館。

実際に地域を案内してもらい、寒川水源、棚田、棚田形成に必要な石積などを見学しました。



地域散策のようす



棚田のようす



▶元気に大きくなってね!

鮎の放流を行いました

宮地岳地区振興会
会長 松川 莞爾

4月22日、宮地岳町と新和町碓石地区の間にある亀ヶ淵で子どもたちが「鮎の放流」を行いました。稚鮎1000匹は子どもたちの手によって放流され、中には手づかみで放流する強者もいましたが、無事元気よく泳いでくれました。稚鮎が元気に育ってくれることを願いつつ楽しい時間でした。

平成26年度からの3年間、まちづくりチャレンジ支援事業により整備され、不法投棄もなくなり、昔のように遊べるようになった亀ヶ淵。これから子どもたちの郷土愛を育み、きれいな自然を後世に遺していきたいと思ひます。

川の探検をしたよ!

佐伊津地区振興会 会長 原田 康秀

8月1日、今年度からの新たな取り組みで【川の探検】と称し、小学校の4~6年生の子どもたちを対象に、地区に流れる隅田川の水環境調査を行いました。川に入るのは初めての子どもも多く、楽しみながら調査が出来たと思います。この体験を通じ、川への関心を持ち、大切な地区の水資源を守っていってあげればと思います。



◀石の裏には何が隠れているかな?

サマーキャンプ富岡往還『鈴木三公の足あと』を訪ねて

▶ふだん見れない本町の上からの風景を見て



集団生活を通して創造性や協調性を身につけ、自然とふれあい、ふるさとの歴史を知るうえでは、たいへん貴重な体験となっています。

本町地区振興会 会長 岡部 養一

かつて鈴木三公が通ったと考えられる本町から富岡までの旧道を歩きながら、先人たちの生活を体感することを目的に始まって今年で15年目を迎えました。天草市内の小学生3年生以上の子どもたちや一般の人たちを対象に毎年7月の中旬に開催しています。本年度は本町東向寺から水の元観音、国照寺を経て富岡公民館までの約20kmを歩きました。子どもたちのみ宿泊し、翌日は海水浴や富岡城見学など野外活動を行います。

夏休み最後のお楽しみ

楠浦地区振興会 会長 鬼塚 邦照

8月26日、楠浦地区コミュニティセンターで「第10回子ども夏祭り」を開催。地区住民だけではなく楠浦小学校、稜南中学校、児童館の先生方もスタッフとして参加していただきました。駐車場では綿菓子、金魚すくい、ボールすくいなどの露店が並び、子どもたちは悩みながらも多くの露店を回っていました。また、視聴覚室では毎年「お化け屋敷」が作られ、中学生や小学校の先生がお化け役となり、今年も子どもたちの元気な悲鳴が響いていました。



▶いくつとれるかな?

夏の思い出に

下浦地区振興会 会長 松岡 政幸

下浦地区振興会の青少年部会では、毎年夏休みに町内児童の健全育成と思い出づくりを目的に、小学生と保護者を対象とした「生物調査勉強会」や「ファミリースポーツ大会」「夏休みおもしろ劇場」などを開催しています。8月2日に行った生物調査勉強会では、日差しが強く水筒やタオルが欠かせない中、子どもたちは元気に水中生物を捕まえて観察していました。



◀生物調査勉強会

各地区の話題

小学生料理教室

本渡北地区振興会
会長 鶴田 克幸

平成14年度から学校週5日制の受け皿として小学生料理教室を開催するようになり、月1回、年11回実施しています。北地区の食生活改善推進委員が主体となり、季節の食材を使った料理やその時期に応じた行事食など、毎回工夫を凝らしたメニューを考えています。



▶七夕三色かんでんづくり

子どもたちにはレシピや礼儀作法、配膳の仕方、食事の後の片づけ方法を教えており、毎月楽しみに参加している子どももいます。毎月募集をしていますので、料理に興味のある北地区の子どもたちの参加をお待ちしています。



◀作った料理をおいしく完食!

こども料理教室を開催

本渡南地区振興会 会長 海江田 雅靖

子どもたちに夏休みの一日を有意義に過ごし、少しでも料理に興味を持ってもらえるように、今年も8月に子ども料理教室を開催しました。メニューはハヤシライス、ポテトサラダ、豆腐白玉だんごです。みんなで協力して作った料理はきれいに盛りつけられ、食台に並べられた子どもたちのお皿はあっという間に完食されました。

さるいてまちの魅力を感じる

亀場地区振興会 会長 河野 昇

4月29日、第2回かめばウォークラリーを開催し、地元内外から127人の参加がありました。今年は、亀川地区のさるくコースを作り、普段あまり歩かないところや地元の文化財・史跡などを春の景色を楽しみながらまわりました。途中チェックポイントを設け、亀場町にまつわるクイズを解き、ゴール後は、婦人会の皆さんが作ったカレーをおいしくいただき、最後に抽選会で盛り上がりました。今後も地域の魅力を感じていただけるよう企画していければと思います。



◀チェックポイントの様子

栢宇土町自主防災避難訓練を開催しました

栢宇土地区振興会 会長 菅原 一男



▶上手に消火訓練中!

9月3日、天草市の一斉避難訓練に合わせて自主防災会避難訓練を行い、約190人の参加がありました。まずは、各区決められた避難場所に避難し、その後、栢宇土地区コミュニティセンターまで歩いての避難や消防団の救出補助を受けての避難があり、その間に防災委員は、本部の立ち上げや各班に分かれてそれぞれの訓練にあたりました。また、総合訓練では、避難した住民が社会福祉協議会や消防署の職員から指導を受け、炊出し訓練・濃煙体験・消火訓練など体験しました。各訓練を積極的に楽しんで体験していた子どもたちが印象的で、いざという時に役に立つ1日になったことでしょう。

来年も元気で会いましょう!!

志柿地区振興会 会長 福島 実

長年にわたり地域社会、ご家族のために貢献してこられた方々のご功績、ご苦勞に対し、町民みんなでご感謝しご長寿を祝う「志柿町敬老会」を実施しました。本会へのご案内は72歳以上の皆さん565人、当日は181人の方が元気にお出席して下さいました。式典では小学生による心のもった作文発表、県・市からの表彰や米寿・百寿の方に記念品贈呈などがあり、式典後には、保育園児のダンスや芸達者な地域住民の歌や踊りがあり、賑やかに開催できました。

多くのお礼の言葉も頂き、多くの方が笑顔いっぱい、喜んでいただき嬉しく思います。また来年も元気に、笑顔でご参加ください!!



◀健康に気をつけていつまでも元気で過ごしてください!!



ほんどのいま

平成29年10月1日現在
(H29.3.1との比較)

【本渡南】	男	4,053人 (-23)
	女	4,716人 (-49)
	計	8,769人 (-72)
	世帯数	3,911 (+23)
	高齢化率	31.4%
【本渡北】	男	5,361人 (+26)
	女	5,810人 (+3)
	計	11,171人 (+29)
	世帯数	4,792 (+40)
	高齢化率	22.7%
【亀場】	男	2,034人 (+1)
	女	2,328人 (-24)
	計	4,362人 (-23)
	世帯数	1,807 (+4)
	高齢化率	23.0%
【柗宇土】	男	316人 (-7)
	女	330人 (-6)
	計	646人 (-13)
	世帯数	269 (-3)
	高齢化率	42.7%
【志柿】	男	1,328人 (-40)
	女	1,564人 (-42)
	計	2,892人 (-82)
	世帯数	1,238 (-15)
	高齢化率	31.5%
【下浦】	男	821人 (-17)
	女	972人 (-6)
	計	1,793人 (-23)
	世帯数	788 (-3)
	高齢化率	43.4%
【楠浦】	男	1,179人 (+2)
	女	1,303人 (-3)
	計	2,482人 (-1)
	世帯数	1,012 (-2)
	高齢化率	35.0%
【本町】	男	866人 (-16)
	女	929人 (-10)
	計	1,795人 (-26)
	世帯数	849 (+3)
	高齢化率	36.5%
【佐伊津】	男	1,573人 (-15)
	女	1,743人 (-31)
	計	3,316人 (-46)
	世帯数	1,435 (-9)
	高齢化率	34.5%
【宮地岳】	男	257人 (-5)
	女	267人 (-4)
	計	524人 (-9)
	世帯数	247 (-5)
	高齢化率	50.2%
【合計】	男	17,788人 (-94)
	女	19,962人 (-172)
	計	37,750人 (-266)
	世帯数	16,348 (+33)
	高齢化率	29.6%

●編集・発行
本渡まちづくり協議会
【事務局】
天草市 地域振興部
まちづくり支援課
〒863-0023
天草市中央新町15番7号
TEL 0969-32-6661
FAX 0969-23-1999
E-mail machidukuri@city.amakusa.lg.jp

イルミネーション特集

日々秋も深まり、冬の足音が聞こえてきています。そんな冬の風物詩のイルミネーションが、本渡の各地区で煌びやかに点灯します。

各地区振興会とも、ふるさと応援寄附金などを活用し、見に来てくださった皆さんに楽しんでもらえるよう、趣向を凝らした内容で取り組んでいます。

皆さん、ご家族ご友人と一緒に見に行かれてみてはいかがでしょうか？



本渡北地区

とき 11月中旬から1月中旬
ところ 本渡北小学校正門付近
見所 くまモンをかたどった電飾やソリに乗ったサンタ&トナカイなどのオブジェ

亀場地区

とき 12月上旬から1月上旬
ところ 亀川小学校前国道沿い
見所 約1万球のLEDに彩られたイルミネーション



柗宇土地地区

とき 12月11日から1月11日
ところ 柗宇土地地区コミュニティセンター
見所 竹を使ったアーチやドーム籠の骨組みなど、趣向を凝らした光の空間



本町地区

とき 12月上旬から1月上旬
ところ 東向寺付近県道沿いの一本松
見所 木のでっぺんに飾り付けたハートマークと、そこから垂らした幾重ものイルミネーション



宮地岳地区

とき 12月上旬から12月下旬
ところ 豆木場自治公民館付近一帯(かかし村)
見所 イルミネーションに彩られたかかしたち

